

授業科目(ナンバリング)	海外旅行実務Ⅱ (CB207) (実践的教育科目)			担当教員	三浦 知子 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義は、総合旅行業務取扱管理者試験受験を目指す学生を主たる対象し、国際航空運賃に関する基礎的な知識を身につけることを目標とする。過去の出題問題なども利用し、繰り返し演習する。「海外旅行実務Ⅰ」を受講済みでないと、航空会社名や都市名の略号が理解できないため、未受講の人はその部分を予め自習する必要がある。							①⑧⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	国際航空運賃の計算のしくみについて理解できる。 国際航空運賃の高度な計算をすることができる。				・確認テスト ・定期試験	20% 30%	
情報収集、分析力	国際航空運賃計算の基本を理解することができる。キャリア運賃の計算をすることができる。				・確認テスト ・定期試験	10% 30%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	国際航空運賃で扱う空港名から国や地域を判断することができる。				・確認テスト	10%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験(60%)、確認テスト及び授業への積極的な参加(40%)により、総合的に評価する。 定期試験は、総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行実務」のうち、「国際航空運賃」部分に相当する出題範囲とし、難易度も国家試験に準ずる。							
授業の概要							
国際航空運賃についての基礎的な知識を身に付ける。テキストに準拠し講義を進める。テキストや補足資料を元に進める。担当教員の航空仕入手配の実務知識と経験をもとに、基礎的な国際航空運賃計算の方法についてまず解説し、演習を通じて習得していく。内容の理解度を確認するため、前回に扱ったテーマについて、毎回確認テストを行い、解答を返却し解説を行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：『国際航空運賃・料金』(株) JTB 総合研究所 参考書：必要に応じて、授業中に紹介する。 指定図書：『国際航空運賃・料金』(株) JTB 総合研究所							
授業外における学修及び学生に期待すること							
未知の分野の学習となるので、難易度がかかなり高く、学習量も多いので履修にあたっては注意のこと。国家試験では実務的な問題が主となるので、基本を徹底的におさえて進めます。「海外旅行実務Ⅰ」の内容も適宜復習が必要です。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	IATA と国際航空運賃	IATA とは。そこで決められる協定運賃、運送会議地区、旅行経路等の国際航空運賃の仕組みの基礎について学ぶ	航空会社と IATA の関係について予習/国際航空運賃の仕組みを復習
2	運賃の種類	運賃は普通運賃と特別運賃に区分される。また国際航空運賃はすべて出発国通貨建運賃であるが、運賃共通単位としての NUC について学ぶ。	国際航空運賃の種類について予習/運賃共通単位 (NUC) について復習
3	タリフとアド・オン運賃	航空運賃が掲載されているタリフの種類と、その基本的な見方を学ぶ。タリフに掲載されていない都市への運賃を算出するためのアド・オン運賃について理解する。	航空運賃のタリフについて予習/アド・オン運賃について復習
4	運賃計算その 1	基本規則について学ぶ。旅行形態によって適用運賃や規則が異なる。旅行形態は片道旅行、往復旅行、オープン・ジョー、周回運賃があることを理解する。	航空利用の旅行形態について予習/片道、往復旅行、オープン・ジョー、周回運賃について復習
5	運賃計算その 2	出発地点から目的地点までの間に途中乗り継ぎや降機する場合には距離計算をしなければならないが、そのマイルージ計算の方法について学ぶ。	距離計算について予習/マイルージ計算、途中降機について復習
6	運賃計算その 3	マイルージ計算には例外がある。それらについて学ぶ。超過マイルや地上運送区間を含む経路の取扱いについて学ぶ。	マイルージ方式の例外について予習/TPM、surface について復習
7	運賃計算その 4	運賃計算上のチェック事項について。旅程に途中で高額運賃の都市に寄る場合にはその運賃を下回ってはいけないなどといったルールを学ぶ。	運賃計算上のチェック事項について予習/授業で扱った計算について復習
8	運賃計算その 5	運賃計算欄の表示内容について。基本的な記号の理解をはかる。そして、これまで学習してきた内容の要点を確認し、理解を深める。	運賃計算欄の記号について予習/運賃計算の全体について復習
9	運賃計算その 6	具体的に演習問題に取り組み、理解度をチェックする。間違えやすい部分について重点的に学ぶ。	提示した問題を予習時に解答する/間違えやすい部分について復習
10	キャリア運賃その 1	キャリア運賃の概念について学ぶ。世界の航空会社について、FSC、LCC の違いを理解する。	キャリア運賃とは何か予習/FSC と LCC について復習
11	キャリア運賃その 2	キャリア運賃の各規則について学ぶ。具体的には運賃種別、シーズンリティ、平日運賃、週末運賃、追加運賃について理解を深める。	運賃種別、シーズンリティ、週末・平日運賃の予習/運賃表読解の復習
12	キャリア運賃その 3	キャリア運賃の各規則について学ぶ。具体的には予約・発券、必要旅行日数、最長旅行期間、途中降機について理解を深める。	予約・発券、旅行日数、途中降機の予習/運賃表読解の復習
13	キャリア運賃その 4	キャリア運賃の計算の仕方について。具体的に説明をした後に、演習問題で理解を深める。	キャリア運賃の計算について予習/キャリア運賃計算方法について復習
14	キャリア運賃その 5	キャリア運賃の計算の仕方について、応用問題で理解を深める。	キャリア運賃について予習/複雑なキャリア運賃計算について復習
15	まとめ	全体の復習を行い、特に気をつけるべきポイントについて、再度復習し、理解を深める。	教科書の「理解度テスト」で予習/試験準備
16	定期試験	これまでの学修をふまえ、試験の準備をする。	